



～お葬儀屋さんのひとりごと～

お骨壺のお話 ④

4. いつまでも遺骨を持っていて良いの？

お骨は、いついつまでに必ず埋葬・納骨しなければならないというものではありません。

一般的には、自宅に後飾り祭壇を作って安置した後、四十九日忌法要の際にお墓や納骨堂に収めるケースが多いようです。

しかし、期限がないわけですから気がすむまで遺骨とともに生活することは可能ですし、特におかしな事ではありません。

ただ、火葬後の遺骨をそのまま持ち続けるだけでは自宅の不安定な温度・湿度変化のせいで状態が変化していく危険性があります。

遺骨が遺骨ではなくなってしまっては元も子もないので、長期間保存するのに適したお骨壺を選んでお墓や納骨堂に納めた方が安心なのかもしれませんね。



5. ふくし葬祭・光琳会館で取り扱うお骨壺

白並骨壺



波佐見焼白磁骨壺



白切立骨壺



波佐見焼 翠玉



大理石骨壺



波佐見焼 流水文



香蘭社

香蘭社 色絵吉祥丸紋6寸
四君子分骨壺2.5寸



深川製磁

深川製磁 瑠璃さくら6寸
瑠璃さくら分骨壺2寸



香蘭社 吉野桜6寸
吉野桜分骨壺2.5寸



深川製磁 朱さくら6寸
朱さくら分骨壺2寸



香蘭社 ルリ薔薇6寸
ルリ薔薇分骨壺2.5寸



深川製磁 クリスマスローズ6寸
クリスマスローズ分骨壺2寸

